

概要版

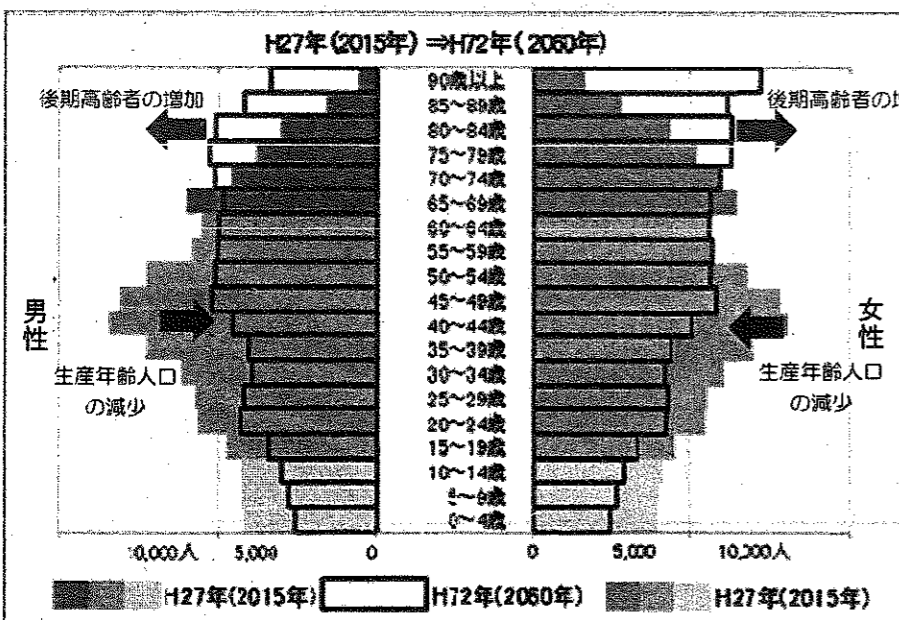
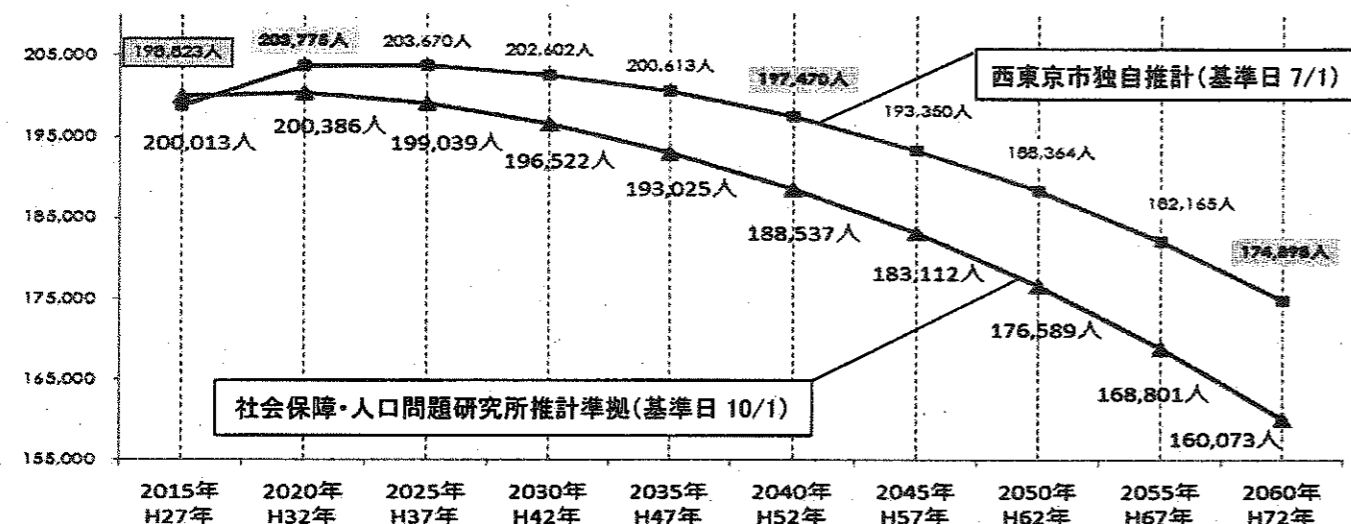
『健康』応援都市の実現へ

西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年度～平成 31 年度）

西東京市では「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の長期ビジョンや総合戦略を勘案し、西東京市の実情に応じた今後 5 か年の施策の方向を示す「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

現状と課題

今後は、2020 年をピークに人口減少が加速度的に進み、人口構造も変化!



現在(平成 27 年)と比べ、平成 72 年の

75歳以上人口は **約2倍に**

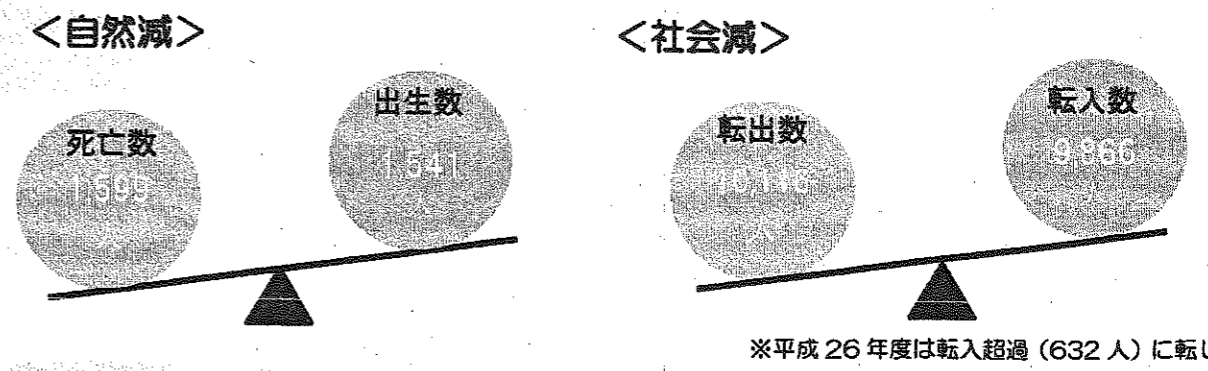
45 年後の平成 72 (2060) 年は男性の 70 歳以上、女性の 75 歳以上の人口が増加し、その年齢以下の人口は減少していく。

平成 27 年において最も多い年代である 40~44 歳では、男性は-45.8%、女性は-38.2%となり、特に男性の減少割合は大きくなると予想されます。

● 日本全体も人口減少に

日本の総人口
2015 年国勢調査 **1億2,711万人** ⇒ 2060 年推計 **8,674万人**

●人口減少の要因(平成 25 年度)



●人口が減少すると・・・

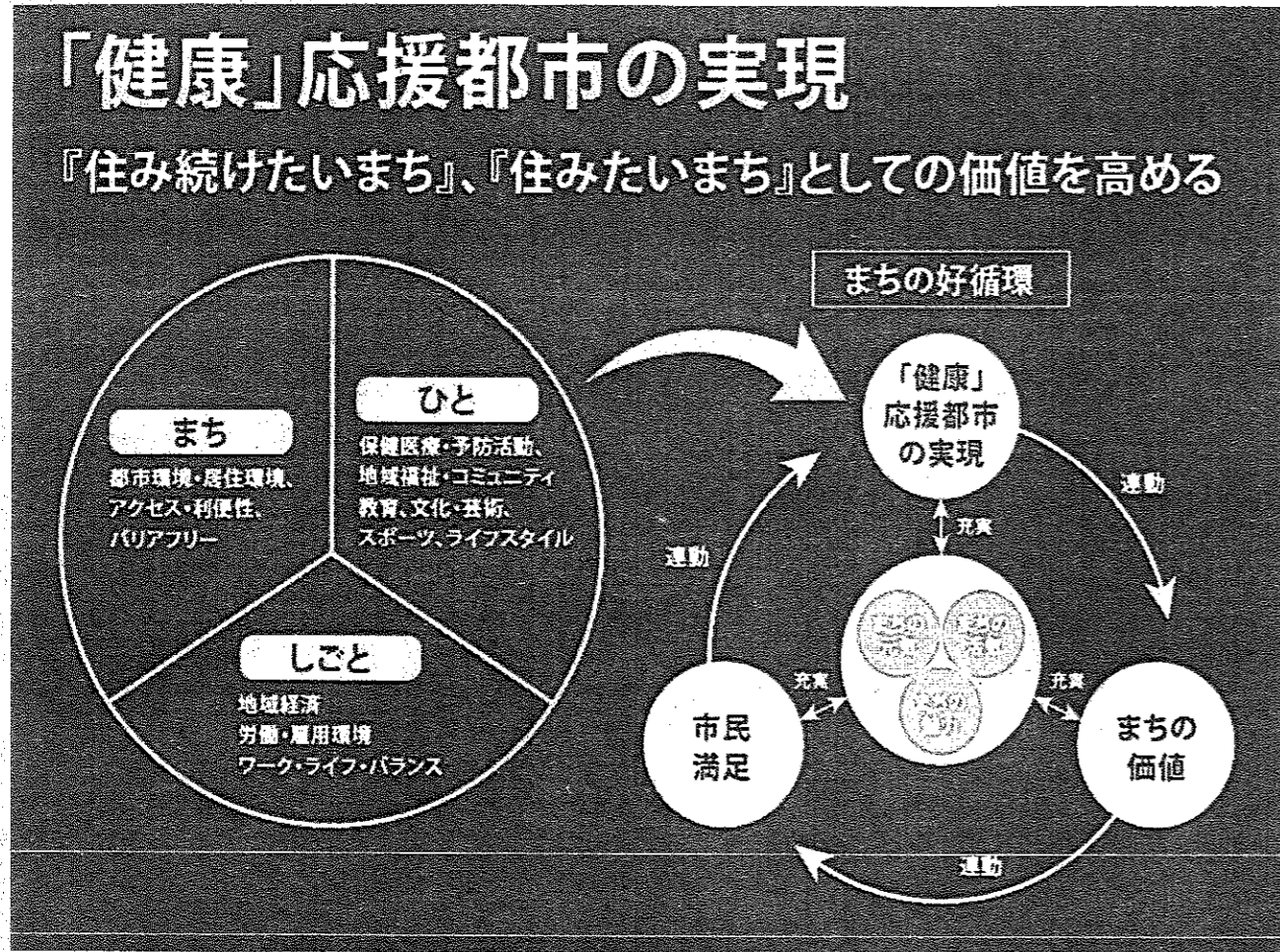
- 労働供給の減少
地域経済規模の縮小
- 地域活力の低下
コミュニティの衰退
- 活動領域の縮小による
人々の心身への影響

本市の特徴

- 都心部へのアクセスの利便性と郊外の居心地の良さを享受できるまち
- コンパクトでアクセス性の良いまち
- 多世代が居住するまち
 - 人口構成: 多世代が居住
 - 比率: 61%
- 働く市民の半分が都心に通勤するまち
 - 通勤率: 1位
 - 通勤率(都心部): 2位
 - 通勤率(都心部): 半数
- 農やみどりのフィールドがあるまち
 - 農やみどりのフィールド: 1位
 - 公園: 1位
 - 公園: 2位
- 魅力的な学習環境や市民文化が息づくまち
 - 学習環境: 1位
 - 市民文化: 下野谷
- 健康都市宣言のまち
 - 市民の健康: 1位
 - 市民の健康: 下野谷

基軸 戦略の基軸

将来にわたって「住み続けたいまち」、「住みたいまち」として選択され続けるためには、市民一人ひとりのこころやからだの健康はもとより、社会や経済、居住や教育といった生活環境も健康水準を向上させるための要素と捉え、まち全体の「健康」を達成するための、「健康」応援都市の実現をめざします。



主な施策・事業（抜粋）

施策 1-1

妊娠期からの切れ目のない支援事業の推進

施策 1-3

健康寿命の延伸に向けた取組の検討

健康応援団の推進

介護支援ボランティアポイント制度の実施

施策 1-4

地域ぐるみの安全体制づくりの推進

学校避難所運営協議会の充実

ほっとするまちネットワークシステムの推進

施策 2-1

女性の働き方サポート推進事業の実施

チャレンジショップ事業の実施

施策 2-2

一店逸品事業の推進

直売所の魅力充実の検討

施策 3-1

下野谷遺跡を活用した魅力づくり

施策 3-2

多様な市民ニーズを考慮した公園機能の充実の検討

施策 3-3

体力づくりや健康の向上のためのまち歩きを検討

基本目標体系

<< 推進のための共通の視点 >>

- 視点 1 まち全体（行政・市民）で情報を発信
- 視点 2 市民との協働や民間企業などとの連携
- 視点 3 将来見通しを踏まえた持続可能で自立的な自治体経営の確立
- 視点 4 広域連携
- 視点 5 新しいアプローチや手法によるまちづくり

基本目標 1 健康・安心・いきいきと暮らせるまちをつくる

多世代の活力を活かして、まちを元気にする

- 1-1 次の世代の結婚・出産・子育ての応援
- 1-2 女性や子育て世代が輝く環境づくり
- 1-3 いつまでも健康で元気に暮らす
- 1-4 安全・安心をみんなでサポート
- 1-5 社会の変化に対応したまちづくり

基本目標 2 地域に根ざした産業が育ち、まちの活力を伸ばす

産業の活性化により、まちの活力を高める

- 2-1 「やる気・勇気」魅力ある新産業の育成
- 2-2 「やる気・元気」地域に根ざした産業の振興

基本目標 3 まちを楽しみ、まちの良さを高める

地理的個性を活かして、まちの魅力を高める

- 3-1 いいね!と評価できる魅力づくりと情報発信
- 3-2 ほっと安らげるみどりのまちづくり
- 3-3 ほっとどこにでも行けるまちを満喫する